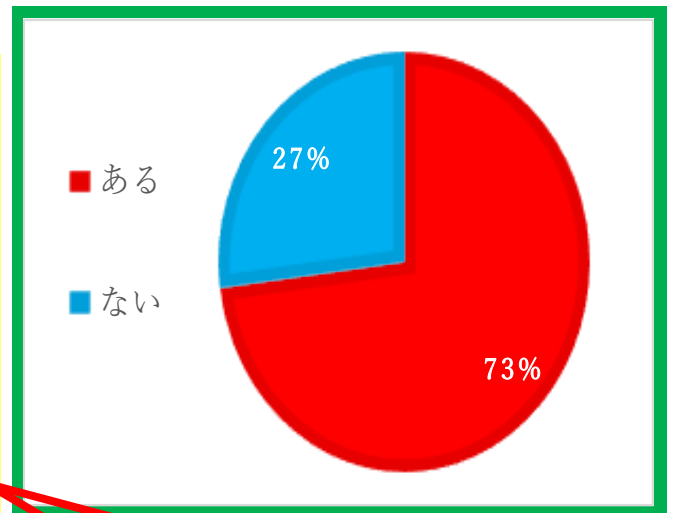


新型コロナウイルスに対するアンケート調査結果②！！

問3. 職場の衛生面での不安はありますか？

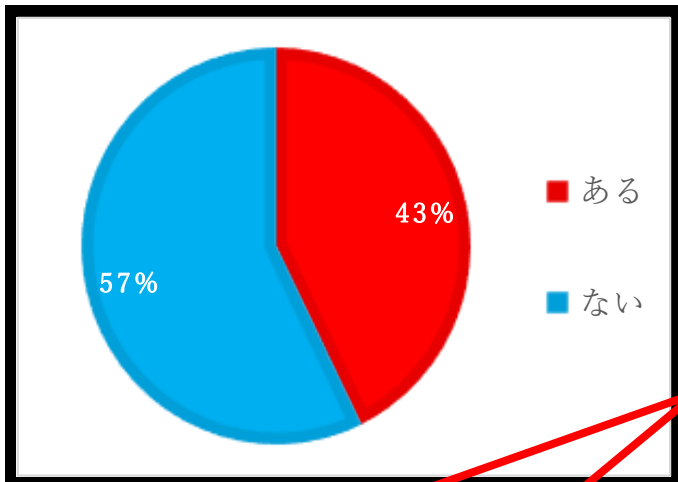
～主な意見～

- 普段使用していない会議室やスペースなどを開放し、少しでも3密状態の解消を行う。
- 運輸職場で日勤等の内勤の休憩時間を被らないように変更し、なるべくリスクを軽減する対策が必要ではないか。
- 他区休憩室は狭く密集してしまう。
- 共用で使用する物の消毒等に不安を感じ、他人が触れた箇所に敏感になってしまう。
- 人によって衛生面での気の使い方に差がある。
- いろいろな対策を行っているが、除菌剤などの不足が懸念される。
- 卓と卓が接近しているため密集している。換気も悪い。
- どうしても社員同士や不特定多数のお客さまとの接触機会が多いため不安がある。
- 職場内でマスク非着用者がいるためみんなが意識する。



箇所によって対応方に違いがあることがわかりました。不安解決に向けて安全衛生委員会などでも議論が必要です。

問4. 自宅待機や子供の休校により不安、あるいは悩みはありますか？



子供のいる組合員は面倒を見なければという気持ちと生活費の両面で不安を抱えています。また、テレワークが進む中で多くの課題があることも明らかになりました。

- 保育園や学童保育などで子供を預かってもらえるため仕事にすることができるが、休園や閉鎖になった場合長期間休むことになるため賃金面や年休の不安がある。
- 子供の運動不足や勉強等毎日面倒を見れるわけでもなく大丈夫なのか不安になる。
- 子供だけで留守番させると仕事でも不安になってしまう。
- 業務で首都圏に行っている人も、私用で行っている人と同じ感覚で見られてしまう。
- 子供が県外にいるため行けない、帰れないことが悩み。
- 在宅で仕事ができる環境が整っていないのに、在宅ワークを強いられている。在宅ワークで何ができるのか？考えさせるばかりで、在宅ワークの在り方や環境整備がなされていないのではないか。
- 今後自宅待機が拡大していくと賃金面が不安になってくる。

問6. その他感染拡大防止について議論してもらいたいことの特徴的な意見

- 乗務員待機箇所でも一人でも発症するとクラスターを起こす危険性があるため今からでも対応するべき。
- 感染拡大防止だけでなく、職場内で感染者が出た場合の取扱い等具体的に掲示してもらいたい。
- 移動の自粛により新幹線や在来線の需要の落ち込みから、輸送の転換等収入を確保するための考えを出すのも必要。
- 今本当に必要な業務なのかを柔軟かつ迅速に判断して、人の流動を抑えてほしい。人と人の接触が抑えられていない。

JR東労組は組合員と家族の幸せのために雇用確保と労働条件の向上を目指して取り組んでいきます。